

記者発表（資料配付）				
月／日 （曜日）	担当部課 担当名	TEL （内線）	発表者 （担当班長名）	その他配布先
2／22 （木）	感染症対策課 （感染症班）	（直通）078-362-3213 （内線）3286	感染症対策課長 舟川 直輝 （小林 博之）	――

スギ花粉の本格的な飛散の開始について

兵庫県が花粉の飛散数を観測する5地点（宝塚市、加古川市、たつの市、豊岡市、洲本市）のうち、1地点（宝塚市）において、今シーズンになって初めて、スギ花粉の飛散が“非常に多い”（50個以上/cm³）状態になりました。

今後、県内各地域で本格的な飛散シーズンに入ると考えられますので、スギ花粉症の方は予防対策をとってください。

なお、兵庫県では、ホームページ*上において県下5観測点におけるスギ・ヒノキ花粉の飛散状況をグラフ及びカレンダー化して公表していますので、花粉症対策にお役立てください。

※ホームページアドレス：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kenkokagaku/pollen.html>

1 スギ花粉が初めて“非常に多い”となった日

観測点	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年
宝塚市（宝塚健康福祉事務所）	2月20日	2月28日	3月5日	2月15日	2月22日
加古川市（県立健康科学研究所）	—	2月28日	3月15日	2月15日	2月16日
たつの市（龍野健康福祉事務所）	—	2月28日	3月5日	2月15日	2月16日
豊岡市（豊岡健康福祉事務所）	—	2月28日	3月11日	2月21日	2月15日
洲本市（洲本健康福祉事務所）	—	2月18日	3月6日	2月15日	2月22日

[現在の基準]

ランク	1(少ない)	2(やや多い)	3(多い)	4(非常に多い)	5(極めて多い)
飛散数(個/cm ³)	10未満	10以上30未満	30以上50未満	50以上100未満	100以上

2 花粉症について

花粉症は、スギやヒノキなどの花粉によって起こるアレルギー疾患の一種です。代表的な花粉症の症状は、くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみです。これは、鼻と目が外気に接しているため花粉に触れる機会が多く、さらに免疫反応に関係の深い粘膜組織を持つことから、花粉に対するアレルギー症状が起こりやすいと考えられています。

3 県民の皆さまへ（花粉症の予防）

セルフケアとして、花粉になるべく接しないことが重要です。

- 1 花粉情報に注意する。
- 2 飛散の多い時の外出を控える。外出時にマスク、メガネを使う。
- 3 表面がけばだつた毛織物などのコートの使用は避ける。
- 4 帰宅時、衣服や髪をよく払ってから入室する。洗顔、うがいをし、鼻をかむ。
- 5 飛散の多い時は窓、戸を閉めておく。換気時の窓は小さく開け、短時間にとどめる。
- 6 飛散の多い時のふとんや洗濯物の外干しは避ける。
- 7 掃除を励行する。特に窓際を念入りに掃除する。

【参考】鼻アレルギー診療ガイドライン2020年版（改訂第9版）